

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	嬉野医療センターにおける B 型肝炎再活性化対策について
研究責任者（所属名）	薬剤部 薬剤師 合原嘉寿
本研究の目的	免疫抑制療法や化学療法の B 型肝炎ウイルス再活性化は発症予防が重要です。当院では、電子カルテにて未測定の項目があると未実施アラートがでるものの、未測定の項目が散見され対策が必要であると考えます。そこで今回、B 型肝炎関連検査値について測定状況を調査し、薬剤師による B 型肝炎関連検査値の代行入力を行う運用を開始したので、薬剤師の介入状況を調査します。
調査データの該当期間	2023 年 9 月から 2024 年 8 月まで
研究の方法 （使用する試料等）	・ 2023 年 9 月から 2024 年 8 月までにレジメン審査委員会で承認されたレジメン管理されている抗がん剤投与中の 406 名を対象とします。 ・ 調査項目は以下の通りです。 対象検査項目： B 型肝炎に関連するスクリーニング検査（HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体）、モニタリング検査（HBV DNA 定量について初回または 3 か月を超えて測定が欠落しているか） なお、モニタリング検査の対象は、HBs 抗原陰性で HBs 抗体と HBc 抗体のいずれか、または両方が陽性の場合です。 ・ 上記の検査状況を踏まえて未測定の項目がある場合は、薬剤師による検査代行入力を行い、薬剤師の代行入力件数を調査します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長

備考	
----	--